企画・制作：(株)読売広告西部　広告

9月9日は救急の日

救急医療を守る取り組みに理解と協力を！

熊本大学救急部 部長／教授 入江弘基先生に聞く

急な病気や怪我などに対して、迅速かつ適切な医療を提供し、人命を守る救急医療。高齢者人口の増加や自然災害の多発などに伴い、救急出動件数は増加の傾向にあります。9月9日の「救急の日」を前に、熊本県の救急医療体制の現状や取り組みについて、熊本大学救急部部長の入江弘基先生に話をお聞きしました。

――一次・二次・三次救急が果たす役割について教えてください。

入江　日本の救急医療体制は、症状と緊急性により一次救急・二次救急・三次救急の3段階に分けられます。このうち一次救急では入院や手術の必要がなく、比較的軽度の処置で済む医療を提供します。救急搬送の半数以上はこのケースです。二次救急は、手術を含めた入院治療に24時間体制で対応するもので、救急医療指定病院が受け持っています。三次救急では、より集約的・専門的な知識を有する治療が必要とされます。脳卒中、心筋梗塞、大動脈解離など命に関わる重症の患者さんに対し、緊急血管内治療や緊急手術の後の集中治療室などでの治療が求められます。

――県下の三次救急を担う病院、またその役割について教えてください。

入江　熊本県で三次救急を担っているのは、救急救命センターを有する「国立病院機構熊本医療センター」「熊本赤十字病院」「済生会熊本病院」に加え、高度な医療を提供する特定機能病院としての役割を持つ「熊本大学病院」を加えた4つの医療機関です。いずれも熊本市内に集中しているため、県内各地域の基幹病院と相互に連携しながら県内全域の三次救急医療をカバーしています。現場に救急隊が到着するまで時間がかかるようなケースや、一刻を争うような疾患の場合は、ドクターヘリで医師が現場出動したり、防災ヘリで地域の医療機関から三次病院に救急搬送することで、広域の救急医療を円滑にカバーする熊本独自の体制が取られています。

――熊本県では、「くまもとメディカルネットワーク」や「Join」など新しい独自の取り組みも始まっています。

入江　大学病院の医師が医療調整役として参画しながら、県や医師会と密接に連携を図っています。熊本県地域医療等情報ネットワーク「くまもとメディカルネットワーク」は、県内の医療機関や介護関連施設がネットワークでつながり、患者さんの診療・調剤・介護に必要な情報を共有し、医療・介護サービスに生かすシステムです。あらかじめ利用できる施設を登録しておくと、検査データや画像データなどを共有でき、緊急時にもスムーズな対応が可能になります。最近では介護施設や連携室などでの利用が増えているようです。登録はスマートフォンでも簡単にできるようになりました。8月9日現在、利用施設数は841、同意数は55万件を超えました。患者さんの自己負担はありませんので、ぜひご参加いただければと思います。

また「Join」とは医療関係者間のコミュニケーションアプリで、医療用のLINEのようなものです。救急隊が患者さんの怪我の状態や心電図モニターの写真を撮って、その画像を搬送時に送ることで、医師は事前に情報を得て受け入れ準備をすることができます。本年4月より県内の消防本部ごとに順次導入が決定し、現在は阿蘇・天草と有明地域で運用され、来年4月には県内統一での運用が広がる予定です。現在、周産期医療への運用も検討されています。

熊本大学病院救急部部長
教授

入江 弘基 氏

いりえ・ひろき
熊本大学医学部を卒業後、整形外科医となり、熊本大学病院集中治療部、救急・総合診療部などを経て令和３年３月から現職。

○日本救急医学会認定専門医
○日本DMAT隊員（統括）
○熊本県メディカルコントロール協議会会長
○熊本県災害医療コーディネーター

――本当に必要な方に救急医療を届けるために、私たち個人ができることはありますか。

入江　「救急安心センター事業」とは、急な病気やけがをしたときに、救急車を呼んだほうが良いのか、今すぐ病院に行ったほうが良いのかなど迷ったときの救急電話相談ダイヤルです。看護師が、病院受診の必要性や対処方法等の適切な助言、医療機関案内などを行います。今年4月からは、24時間365日対応となりました。迷った時は、**「#7119」**にかけてください。相談料は無料です。

――熊本県メディカルコントロール協議会による『「人生の最終段階にある患者の意思に沿った救急現場での心肺蘇生」に関する救急隊の標準的活動指針と活動プロトコール』(※)の対応方針の内容についてお教えください。

入江　自らが希望する医療や介護の内容について、家族や医療・介護スタッフと事前に話し合う「人生会議（ACP＝アドバンス・ケア・プランニング）」の重要性が高まっています。

なかでも「心肺蘇生は望まない」という意思を持つ人の場合、緊急時に家族や介護関係者が119番通報すると、その意思が確認できなければ、救急隊は職務上、救命処置を行いながら病院へ搬送する義務があります。こうした課題に対応するため、熊本県メディカルコントロール協議会は今年4月、救急隊の活動基準を見直しました。本人が「心肺停止時に心肺蘇生を望まない」と明確に意思表示し、医師の作成した指示書などの文書がある場合、救急隊が本人の意思を尊重できるようにするものです。現在、県内各地域の消防本部にも情報共有が進められているところです。緊急時でも本人の尊厳を守るため、ACPを普及させていくことが求められます。

※…熊本県ホームページ「人生の最終段階にある方々の意思に沿った救急現場での対応方針について」にて、詳細記載。

https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/13/223930.html

――最後に読者の方へのメッセージ等ありましたらお願い致します。

入江　限りある医療体制を守り、本当に必要な方の命を救うためには、救急車を適正に利用していただくことが不可欠です。一方で、年々変化する気象の変化や年齢的な人口の変化などにも対応していかなければなりません。もちろん生命に関わるような場合など緊急時には、迷いなく119番通報してください。

今年も救急医療の啓発を目的に、9月6日（土）の午後2時から4時頃まで、熊本市のサンロード新市街の特設会場にて、「“救急の日”の行事　つなげよう！救命の連鎖」を開催します。救急車やAEDの展示、医療相談ブースなどもありますので、お気軽にお立ち寄りください。

EVENT

“救急の日”の行事
つなげよう！救命の連鎖
参加無料

日時
令和7年9月6日（土）
14：00～16：15

場所
サンロード新市街

お問い合わせ先
熊本県医師会　業務Ｉ課
TEL.096-354-3838

◀イベントのポスター

整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科
医療法人 宏徳会
西整形外科医院
日本整形外科学会認定　整形外科専門医
院長　西 芳徳
〒864-0027 熊本県荒尾市蔵満1859-1
☎0968-68-2511

社会医療法人 黎明会
宇城総合病院
地域医療支援病院・救急告示病院・
災害拠点病院・第二種感染症指定医療機関
病院長　箕田 誠司
〒869-0532 宇城市松橋町久具691番地
☎0964-32-3111　FAX.0964-32-3112
http://www.reimeikai.jp/

KUMAMOTO KINOH HOSPITAL
熊本機能病院
KUMAMOTO KINOH HOSPITAL
救急センター長　米満 弘一郎
［日本救急医学会 救急科専門医］
〒860-8518 熊本市北区山室6-8-1
☎096-345-8111
https://www.juryo.or.jp

地域ニーズに応えうる高機能の総合整形外科病院を目指します。
社会医療法人令和会
熊本整形外科病院
Kumamoto Orthopaedic Hospital
〈診療科目〉
整形外科、内科、循環器内科、放射線科、リウマチ科、形成外科、リハビリテーション科、血管外科、呼吸器内科、麻酔科（鈴木 和夫・江口 広毅・安部 真理）
熊本市中央区新屋敷1丁目17-1
☎096-366-3666

一般社団法人 八代郡市医師会
八代北部地域医療センター
院長　吉田 光宏
〒869-4601 熊本県八代郡氷川町今151-1
TEL：0965(53)5111　FAX：0965(53)5112
URL https://ygmahp.ec-net.jp/

一般社団法人天草郡市医師会立
苓北医師会病院
［基本方針］
今、目の前の患者さんの気持ちに寄り添い、
適切な医療を提供します。
そして、介護・福祉と連携して地域住民の生活を支えます。
これが、私たちの誇りとなる病院作りに努めます。
〒863-2507 熊本県天草郡苓北町富岡3600-3
☎0969-35-1133　https://www.rmahp.jp/

国立病院機構
熊本医療センター
院長
日髙 道弲
診療部長／救命救急部長
櫻井 聖大
〒860-0008 熊本県熊本市中央区二の丸1-5
TEL.096-353-6501　FAX.096-325-2519

『高度な医療・心のこもった医療を提供します』
独立行政法人 地域医療機能推進機構
人吉医療センター
国指定地域がん診療連携拠点病院/臨床研修指定病院(基幹型・協力型)
地域医療支援病院/第二種感染症指定医療機関
院長　薬師寺 俊剛
〒868-8555 熊本県人吉市老神町35番地
☎0966-22-2191　FAX.0966-24-2116
https://hitoyoshi.jcho.go.jp/

医療法人　弘仁会
熊本総合医療リハビリテーション学院
救急救命学科〈2年課程〉
学院長　牛島 一男
●併設学科
理学療法学科／作業療法学科／臨床工学学科／義肢装具学科
〒861-8045 熊本市東区小山2丁目25-35
☎096-389-1133　FAX.096-389-1135
熊リハ　検索

市民を愛する 市民に愛される病院へ
荒尾市立 有明医療センター
Ariake Medical Center
病院事業管理者　大嶋 壽海
院長　山本 真一
〒864-0041 熊本県荒尾市荒尾2600番地
TEL.0968-63-1115　FAX.0968-63-1189
https://www.hospital.arao.kumamoto.jp/